

領域と分野	分野別目標
1-4 COPD	COPD（慢性閉塞性肺疾患）について 知っている人の割合を増やす

1
2 **【望ましい姿】**

3 多くの都民が、COPD¹の原因や症状について正しい知識を持ち、予防に
4 努め、早期治療と治療継続の意義を理解しています。長期にわたる喫煙者等リ
5 スクの高い人は、早期発見と早期受診に努めています。

6
7 **【これまでの主な取組】**

- 8 ○ COPDの早期発見・早期受診などの必要性をわかりやすく説明した都
9 民向けパンフレットを作成
10 ○ COPDのおそろしさや診断方法、治療方法などを紹介した、職場向け
11 普及啓発動画の作成や、働く世代に向けたインターネットバナー広告、働
12 く女性向け情報誌への記事掲載、医療従事者向け講習会を実施
13 ○ 区市町村と連携し、イベント会場で参加者が肺年齢測定を体験すること
14 により、COPDを知り、発症予防及び早期発見・早期治療の大切さを認
15 識してもらうとともに、自分の家族等にも伝える意識を醸成
16 ○ 卒煙支援のリーフレットの作成や、ニコチン依存治療保険適用医療機関
17 情報のホームページでの提供などにより、禁煙希望者への支援を実施

18
19 **【指標の達成状況及び評価】**

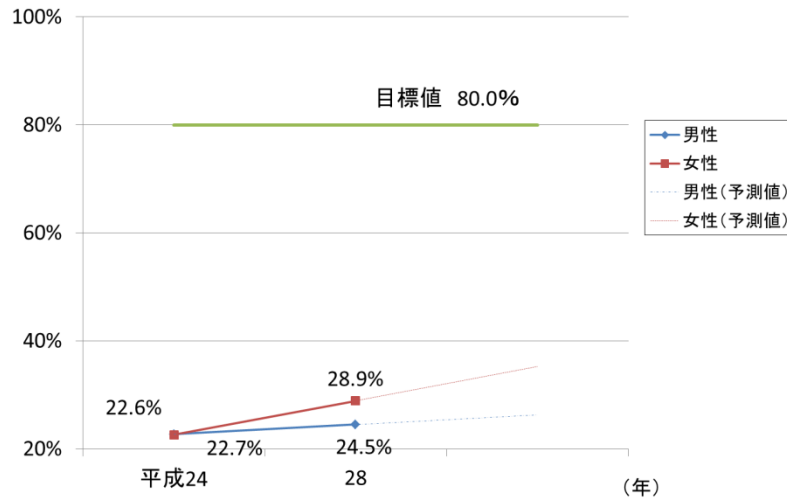
- 20 ○ COPDの認知度は、男女ともに上昇しており、指標は改善傾向にあるこ
21 とから、評価をaとしました。しかし、このままでは目標の80%に到達す
22 ることが困難と推測されます。<凶●>

指 標		指標の 方向性	パ - ス11値 (H24)	現状値 (H28)	増減率	評価
COPDの認知度 (言葉の内容を知ってい た人の割合)	男性 (20歳以上)	増やす (80%)	22.7%	24.5%	△ 7.9%	a
	女性 (20歳以上)		22.6%	28.9%	△ 27.9%	

23
24
25

¹ COPD：これまで、肺気腫や慢性気管支炎と診断された疾患の総称で、主な症状は咳・痰・息切れであり、徐々に呼吸障害が進行する。主な原因は長期にわたる喫煙習慣。

<図●> COPDの認知度の推移(20歳以上)



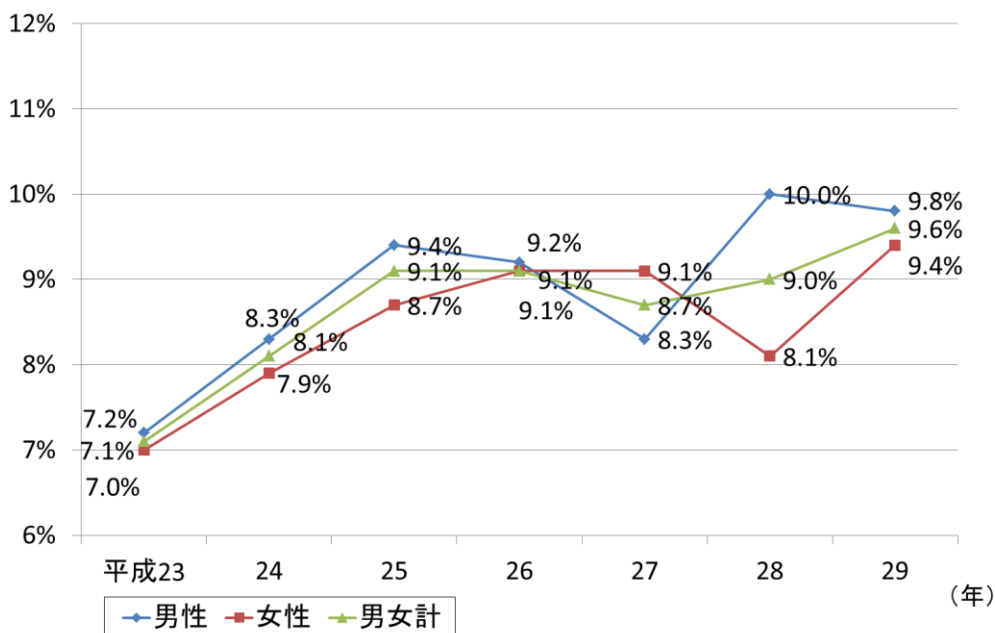
資料:「健康と保健医療に関する世論調査」(東京都生活文化局)

【参考指標の数値の推移】

- 国民のCOPDの認知度は上昇傾向にありますが、都民の認知度に比べると低く、全体の1割に満たない状況です。<図●>
- 気管支炎及びCOPDの人口10万人当たり受療率は、ほぼ横ばいとなっています。
- COPDによる人口10万人当たり年齢調整死亡率は、男女ともに減少傾向にあります。<図●>

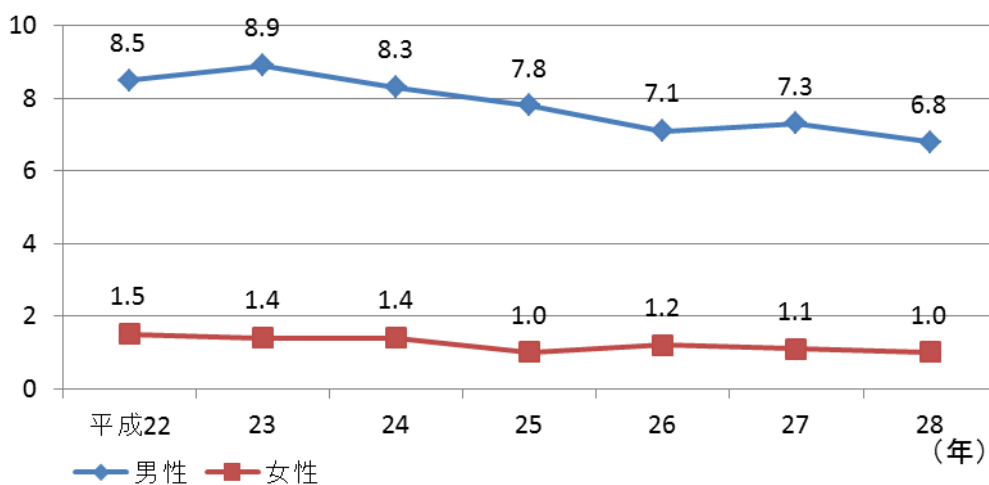
参考指標		ハ-ライク値	現状値
国民のCOPDの認知度 (COPDについてどんな病気かよく知っている人の割合)	男性 (20歳以上)	7.2% (H23)	9.8% (H29)
	女性 (20歳以上)	7.0% (H23)	9.4% (H29)
人口10万人当たり気管支炎及びCOPDの受療率	入院	4 (H23)	3 (H26)
	外来	23 (H23)	19 (H26)
人口10万人当たりCOPDによる年齢調整死亡率	男性	8.5 (H22)	7.3 (H27)
	女性	1.5 (H22)	1.1 (H27)

1 <図●>国民のCOPDの認知度の推移(20歳以上 全国)



16 資料:「GOLD 日本委員会調査」(一般社団法人 GOLD 日本委員会)

17
18 <図●>人口 10 万人当たりCOPDの年齢調整死亡率の推移(東京都)



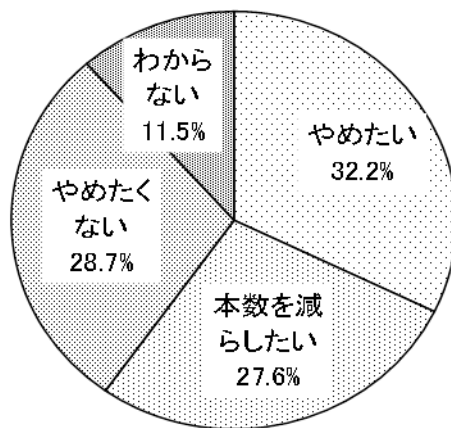
31 資料:「人口動態統計」(厚生労働省)より福祉保健局において算出

32
33 【現状と課題】

- 34 ○ COPD患者の9割以上が長期にわたる喫煙者であり、喫煙者の2割がC
35 OPDを発症すると言われています。その一方で、COPDが比較的新しい
36 病名であることから、都民の認知度は上昇傾向にあるものの、まだ約25%
37 にとどまっており、適切な治療を受けずに症状が進行している人が少なく
38 ないと推測されます。

- COPDは都民の死因の第 11 位（平成 28 年、人口動態統計（福祉保健局））であり、喫煙率は減少傾向にあるものの、これまでの喫煙率と高齢化により、患者数が増加すると推測されます。
- COPDは、禁煙等による発症予防や、服薬による重症化予防が可能です。普及啓発によるさらなるCOPDの認知度向上が必要です。
- 都民の世論調査（平成 28 年度）の結果では、喫煙者のうち、喫煙習慣を見直したいと考えている人が6割近くいます。たばこをやめたい喫煙者への禁煙・卒煙支援が重要です。＜参考図●＞

＜参考図●＞喫煙習慣見直しに対する意欲（平成 28 年度 東京都）



資料：「健康と保健医療に関する世論調査」（東京都生活文化局）

【取組の方向性】

■ COPDの認知度の向上

COPDの予防、早期発見・早期治療の促進に向けて、疾病の原因や症状、発症予防や、治療による重症化予防が可能であること等、正しい知識の普及啓発を行っていきます。また、リーフレットや動画等を活用し、職域と連携した普及啓発を行います。

■ 喫煙率低下に向けた取組の推進

喫煙や受動喫煙は、COPDを含む呼吸器疾患や、肺がん等のリスクを高めるとされていることから、正しい知識の普及に加え、禁煙希望者を支援するため、禁煙外来等の周知や、禁煙支援を行う区市町村への支援などを行います。